

掛川市子ども・子育て支援に関する二一ズ調査結果 概略

I 調査の概要

1 調査の目的

子ども・子育て支援法（平成 24 年法律第 65 号）に基づく新たな子ども・子育て支援制度（以下「子ども・子育て支援新制度」といいます。）の下で、教育・保育・子育て支援の充実を図るため、平成 27 年度から 5 年間で一期とする「掛川市子ども・子育て支援事業計画」を策定し推進してきました。

この計画が平成 31 年度に終了することから、新たに「第二期掛川市子ども・子育て支援事業計画」を策定するにあたり、市民の皆様の子育ての環境、教育・保育・子育て支援の現在の利用状況および今後の利用希望などを把握するために本調査を実施しました。

2 調査の設計

調査対象	就学前 掛川市に在住の就学前児童のいる家庭
	小学生 掛川市に在住の小学校 1～3 年生のいる家庭
調査方法	就学前 園配布・園回収及び郵送配布・郵送回収
	小学生 学校配布・学校回収
標本数	就学前 1,500 名
	小学生 1,500 名
調査期間	平成 30 年 11 月 30 日（金）～平成 30 年 12 月 19 日（水）
調査機関	(株)サーベイリサーチセンター静岡事務所

3 回収結果

回収結果は以下のとおり。

	配布・発送数	回収数（前回）	回収率（前回）
未就学児	1,500	1,100 (1,081)	73.3% (72.1%)
小学生	1,500	1,196 (1,136)	79.7% (75.7%)

4 調査の内容

1) 未就学児

- ①地域について
- ②宛名のお子さんご家族の状況について
- ③子どもの育つ環境について
- ④保護者の就労状況について
- ⑤平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について
- ⑥地域の子育て支援事業の利用状況について
- ⑦土曜・日曜・祝日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について
- ⑧お子さんの病気の際の対応について
- ⑨お子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について
- ⑩小学校就学後の放課後の過ごし方について
- ⑪幼児教育・保育の無償化について【新規】
- ⑫育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について
- ⑬子育てに関する意識などについて
- ⑭掛川市子育て総合案内サイト「かけっこ」について【新規】

2) 小学生

- ①地域について
- ②宛名のお子さんご家族の状況について
- ③子どもの育つ環境について
- ④保護者の就労状況について
- ⑤地域の子育て支援事業の利用状況について
- ⑥放課後の過ごし方について
- ⑦育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について
- ⑧子育てに関する意識などについて

5 集計結果を見る際の注意事項

- ・比率はすべて百分比であらわし、小数点以下第2位を四捨五入しています。このため、百分比の合計が100%にならないことがあります。
 - ・複数個の回答が許されている設問においては、回答比率の合計が100%を超えることがあります。
- ※「Ⅱ 調査結果の概要」の括弧内の数値は、前回調査からの「増減」又は前回調査の「回答比率」を記載しています。

Ⅱ 調査結果の概要

1 就学前調査

①地域について

(問 1) 居住地区

居住地区は、「第一小学校区・中央小学校区」(「第一小学区・中央小学区」)が 19.7%、「西郷小学校区・城北小学校区・倉真小学校区」(「北中学区」)が 17.7%、「桜木小学校区・和田岡小学校区・原田小学校区・原谷小学校区」(「桜が丘中学区・原野谷中学区」)が 14.8%、「千浜小学校区・大坂小学校区・土方小学校区・佐束小学校区・中小小学校区」(「城東中学区・大浜中学区」)が 12.6%、「第二小学校区・曾我小学校区」(「西中学区(中央小以外)」)が 11.0%などとなっている。

②宛名のお子さんご家族の状況について

(問 7) 主な子育て(教育)者

主な子育て者は、「父母ともに」が 47.2% (6.4p 減) となっている。また、「主に母親」が 51.6% (6.9p 増) となっており、主な子育て者が“母親”の割合が多くなっている。

③子どもの育つ環境について

(問 10) 子育てを頼める親族や知人

「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が 61.4% (0.4p 増)、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が 35.5% (0.5p 減) で前回調査とほぼ同様の結果となっている。また、子育てを頼める親族や知人が、「いずれもない」は 9.2% (0.4p 増) となっており、前回調査同様、約 1 割が子育てに孤立した状況にある。

(問 11) 子育てを気軽に相談できる相談先

相談できる人が「はい(相談できる人がいる)」が 96.0% (7.9p 増) となっており、ほとんどの人が相談先を確保しているが、相談先のない人も 3.8% (0.3p 減) いる。

(問 11-1) 相談先

子育て(教育)の相談先は、「祖父母等の親族」が 83.4% (0.7p 増)、「友人や知人」が 78.4% (4.0p 減) で、約 8 割を占める。以下、「園の先生」が 46.9% (1.6p 減)、「子育て支援施設(つどいの広場・子育て支援センター、児童館等)・NPO」が 18.0% (4.6p 増) となっている。

④保護者の就労状況について

(問 12) 母親の就労状況

“フルタイム”が 41.3% (7.4 p 増)、“パート・アルバイト”が 24.0% (1.3 p 増) で、“働いている母親”は 65.3% (8.7 p 増) となっている。

(問 12) 父親の就労状況

働いている父親は、96.4% (5.8 p 増) となっている。その他、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が 2 件であった。

(問 13) フルタイムへの転換希望

パート・アルバイトで働く母親のフルタイムへの転換希望は 40.6% (7.9 p 増) となっており、4 割の人がフルタイムで働きたいと意思表示している。一方、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」は 12.6% (3.2 p 増) で、実質的な転換希望は約 1 割となっている。

(問 14) 未就労者の就労希望

働いていない母親の就労希望は、74.5% (13.9 p 増) となっており、「1 年より先に就労したい」が 54.8% (12.3 p 増) で、潜在的な就労ニーズが多くなっている。

⑤平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

(問 15) 平日の定期的な教育・保育事業の利用有無

何らかの定期的な教育・保育事業の利用状況は、「利用している」が 73.8% (0.6 p 減)、「利用していない」が 26.2% (1.0 p 増) となっている。

(問 15 – 1) 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況

平日、年間を通し定期的に利用している教育・保育事業は、「認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）」が 30.2% (30.1 p 増)、「幼稚園（幼保園幼稚園部を含む、通常の就園時間の利用）」が 31.2% (27.1 p 減)、「認可保育所（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員 20 人以上のもの）」が 30.9% (7.1 p 減) となっており、認定こども園の増加が大きく影響している。

(問 15 – 8) 平日の定期的な教育・保育事業を利用していない理由

平日の定期的な教育・保育事業を利用していない理由は、「子どもの保護者がみているため」が 53.1% (0.5 p 増) と最も多く、次いで「子どもがまだ小さいため」が 46.2% (6.7 p 減)、「利用したいが、保育・教育の事業に空きがないため」が 22.9% (10.4 p 増)、「子どもの教育や発達のことを考え家庭でみているため」が 13.9% (10.2 p 増) などとなっている。

(問 16) 平日の定期的な教育・保育事業の利用希望

平日の定期的な教育・保育事業の利用希望は、「認可保育所」が 30.9% (15.0 p 減)、「認定こども園」が 30.2% (13.6 p 増)、「幼稚園」が 31.2% (31.1 p 減) となっており、現在の利用状況と同様、「認定こども園」が増加している。

⑥地域の子育て支援事業の利用状況について

(問 17) 地域子育て支援拠点事業の利用状況

地域子育て支援拠点事業の利用状況は、「利用していない」が 63.2%と多いが、前回比 6.9 p 減少しており、利用している割合は増えている。以下各施設の利用率は、「児童館・児童交流館」が 22.4% (6.2 p 増)、「子育て支援センター」が 19.0% (7.4 p 増)、「つどいの広場」が 5.9% (4.7 p 増) となっており、いずれも利用率が増加している。

(問 18) 地域子育て支援拠点事業の利用希望

地域子育て支援拠点事業の新規利用希望は、「児童館・児童交流館」が 26.9% (2.2 p 増)、「子育て支援センター」が 16.5% (3.1 p 増)、「つどいの広場」が 14.2% (0.4 p 減) となっており、いずれも利用希望が増加している。

(問 19) 各事業の認知度

各事業の認知度は、「①パパ・ママセミナー、離乳食教室（保健センター）」が 87.3% (2.8 p 減) と最も多く、次いで「②すくすく健康相談、子育て相談・療育相談（保健センター）」が 75.5% (7.8 p 減)、「③家庭教育学級（幼保園・認定こども園・幼稚園）」が 58.7% (5.2 p 減) などとなっている。

今回新たに追加した事業の認知度は、「⑦子育てコンシェルジュ事業（市役所）※0～3歳児を持つ家庭への相談窓口」が 54.5%、「⑥子育て世代包括支援センター、ふくしあ子育て相談（保健センター）」が 42.5%、「⑧発達相談支援センター（のびる〜む）」が 20.4% となっている。

⑦土曜・日曜・祝日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について

(問 20) 土曜・日曜・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望

土曜・日曜・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望は、“利用したい”が土曜日は 22.5% (5.6 p 減)、日曜・祝日は 15.1% (1.7 p 減) となっている。

(問 21) 長期休暇期間中の定期的な教育・保育事業の利用希望（幼稚園利用者）

長期休暇期間中の定期的な教育・保育事業の利用希望は、“利用したい”が 55.7% (2.6 p 減) となっている。

⑧お子さんの病気の際の対応について

(問 22) 病気等で通常の事業が利用できなかったことの有無

病気等で通常の事業が利用できなかったことは、「あった」が 86.8% (15.3 p 増) となっている。

(問 22-1) 普段の教育・保育の事業が利用できなかった場合の対処方法

普段の教育・保育の事業が利用できなかった場合の対処方法は、「父親が仕事を休んだ」が 24.3% (2.9 p 増)、「母親が仕事を休んだ」が 64.7% (1.8 p 増)、「(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった」が 34.2% (4.0 p 減) となっている。

⑨お子さんの不規則の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

(問 23) 私用、親の通院、不規則の就労等の目的で不規則に利用している事業の状況

私用、親の通院、不規則の就労等の目的で不規則に利用している事業の状況は、「利用していない」が 83.9% (7.1 p 増) となっている。

利用している事業は「幼稚園の預かり保育」が 10.8 (1.8 p 減) %、「一時預かり」が 2.8% (1.3 p 減) などとなっている。

⑩小学校就学後の放課後の過ごし方について

(問 26・27・28) 希望する放課後の過ごし方（放課後児童クラブに着目）

希望する放課後の過ごし方のうち、「放課後児童クラブ（学童保育）」については、低学年（1～3年）での希望が 40.1% (2.8 p 増)、高学年（4～6年）での希望が 24.3% (1.0 p 減) となっている。6年生までの利用希望は 36.2% (43.8 p 減) となっている。

(問 29・30) 平日以外の放課後児童クラブの利用希望

平日の放課後児童クラブ利用希望者のうち、土曜日の利用希望は 20.2% (6.5 p 減)、日曜日・祝日の利用希望は 12.8% (0.5 p 減)、長期休暇時の利用希望は 57.2% (4.7 p 増) となっている。

⑪幼児教育・保育の無償化について（新規）

（問 31）無償化の認知状況

無償化の認知状況は、「無償化になることは知っているが内容は知らない」が 68.9%、「無償化になることを知らない」が 18.5%、「無償化の内容を知っている」が 12.3%となっている。

（問 32）無償化実施時の教育・保育施設の利用希望

無償化実施時の教育・保育施設の利用希望は、「継続して利用したい」が 68.7%、「現在教育・保育施設を利用していないが、新たに教育・保育施設を利用したい」が 17.8%、「現在教育・保育施設を利用しておらず、新たに教育・保育施設を利用は希望しない」が 5.6%、「異なる教育・保育施設を利用したい」が 4.9%となっている。

（問 32－1）無償化実施時に新たに利用を希望する事業

現在利用していて、無償化が実施されたら「異なる教育・保育施設を利用したい」または、現在利用していないが、「新たに教育・保育施設を利用したい」は、「認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）」が 70.0%、「認可保育所」が 63.6%と多くなっている。

（問 33）無償化実施時、子どもの人数を増やしたいと思うか

無償化実施時、子どもの人数を「増やしたいとは思わない」が 54.4%と最も多く、「あと 1 人増やしたい」が 29.2%、「あと 2 人増やしたい」が 6.2%で、子どもを増やしたいと思っているのは 35.4%となっている。

⑫育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

（問 34）母親の育児休業の取得状況

母親の育児休業の取得状況は、「取得した（取得中である）」が 45.4%（9.7 p 増）、「働いていなかった」が 41.6%（4.7 p 減）、「取得していない」が 12.7%（4.0 p 減）となっている。

（問 34）母親が育児休業を取得しなかった理由

母親が育児休業を取得しなかった理由は、「子育てや家事に専念するため退職した」が 40.6%（18.8 p 減）、「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」が 24.6%（7.4 p 増）、「（育休後に）仕事に戻るのが難しそうだった」が 13.0%（4.1 p 増）、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が 12.3%（3.8 p 減）となっている。

(問 34) 父親の育児休業の取得状況

父親の育児休業の取得状況は、「取得した（取得中である）」が2.0%（1.0p増）となっている。

⑬子育てに関する意識などについて

(問 35) 悩んでいることや不安に思っていること

母親が悩んでいることや不安に思っていることは、「子どもの病気や発育・発達に関すること」が49.9%（5.0p増）、「子どもの食事や栄養に関すること」が43.4%（0.9p増）、「子どもの教育に関すること」が32.0%（1.6p減）となっている。その他「仕事や自分のやりたいことが十分にできないこと」が30.9%（6.1p増）と多くなっている。また「友達付き合い（いじめなど）」は17.0%（6.1p減）となっている。

父親が悩んでいることや不安に思っていることは、「子どもとの時間を十分にとれないこと」が34.8%（0.2p減）、「子どもの病気や発育・発達に関すること」が31.0%（5.2p増）、「子どもの教育に関すること」が17.9%（2.4p減）となっている。その他「子育てにかかる費用が大きな負担になっていること」が16.3%（4.6p増）となっている。

(問 37) 認可保育所へ入所できない状況に対して掛川市がとるべき施策

認可保育所へ入所できない状況に対して掛川市がとるべき施策は、「認可保育所や認定こども園の増設」が72.2%（0.6p減）、「幼稚園の預かり保育の拡充」が35.0%（7.4p減）、「幼稚園の認定こども園化の推進」が29.0%（6.8p増）、「事業所内保育施設の増設」が20.2%（2.3p増）となっている。

(問 38) 掛川市における子育て環境や支援の満足度

掛川市における子育て環境や支援の満足度は、「やや満足度が低い」が16.9%、「満足度が低い」が18.2%で、“不満足派”は35.1%（5.0p減）、「やや満足度が高い」が21.0%、「満足度が高い」が3.9%で、“満足派”は24.9%（12.7p増）となっている。

⑭掛川市子育て総合案内サイト「かけっこ」について

(問 39) 「かけっこ」の認知状況

「かけっこ」の認知状況は、「知らない」が34.9%、「知っていて、利用したことがある」が32.5%、「知っているが、利用したことはない」が31.7%となっている。

利用日数（日/週）は、「週1日未満程度（月1～3回）」が58.0%と最も多く、次いで「週1日程度（月4～7回）」が14.6%、「週3日程度（月12～15回）」が5.3%などとなっている。

(問 39-2) 「かけっこ」のよく使うメニュー

よく使うメニューは、「子育てカレンダー」が 59.4%、「健診・予防接種」が 47.3%、「施設検索」が 16.2%、「子育て施策のご案内」が 10.6%などとなっている。

(問 39-3) 利用していない理由

利用していない理由は、「園に通っているため利用する必要がない」が 45.3%、「利用したい内容がない」28.4%、「その他」18.1%、「子どもが大きくなって利用の必要がない」12.9%となっている。

①地域について

(問 1) 居住地区

居住地区は、「桜木小学校区・和田岡小学校区・原田小学校区・原谷小学校区」(桜が丘
中学区・原野谷中学区)が17.1%、「西郷小学校区・城北小学校区・倉真小学校区」(北中
学区)が16.7%、「千浜小学校区・大坂小学校区・土方小学校区・佐東小学校区・中小学
校区」(城東中学区・大浜中学区)が16.0%、「第一小学校区・中央小学校区」(第一小学
区・中央小学区)が14.8%、「上内田小学校区・西山口小学校区」(東中学区(第一小以外))
が11.7%などとなっている。

②宛名のお子さんご家族の状況について

(問 7) 主な子育て(教育)者

主な子育て者は、「父母ともに」が52.7%で(0.9p減)、「主に母親」が45.3%(1.4p
増)となっている。

③子どもの育つ環境について

(問 10) 子育てを頼める親族や知人

「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が52.7%(1.5p増)、
「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が40.3%(4.5p減)となっている。また、
子育てを頼める親族や知人が「いずれもない」が8.9%(2.7p増)となっており、子育
てに孤立した状況にある人もいる。

(問 11) 子育てを気軽に相談できる相談先

相談できる人が「はい(相談できる人がいる)」が88.0%(5.4p増)、「いいえ(相談で
きる人がいない)」が7.5%(1.7p増)となっている。ほとんどの人が相談先を確保して
いるが、相談先のない人もいる。

(問 11-1) 相談先

具体的な相談先をみると、「友人や知人」が79.9%(1.9p減少)、「祖父母等の親族」が
78.3%(2.2p減少)で、約8割を占める。その他、「学校の先生」が30.1%(4.5p減)、
「近所の人」が12.3%(3.1p減少)となっている。

④保護者の就労状況について

(問 12) 母親の就労状況

「フルタイム」が 38.0% (8.2 p 減)、「パート・アルバイト」が 44.4% (4.0 p 増) で、“働いている母親”は 82.3% (12.1 p 増) となっている。

(問 12) 父親の就労状況

父親は、「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」が 96.9%と9割を超えている。「パート・アルバイト」が3件、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が3件であった。

前回調査は、「無回答」が多く比較は難しい。

(問 13) フルタイムへの転換希望

パート・アルバイトで働く母親のフルタイムへの転換希望は 38.5% (7.7 p 増) しており、約4割の人がフルタイムで働きたいと意思表示している。一方、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」は 11.7% (3.8 p 増) で、実質的な転換希望は約1割となっている。

(問 14) 未就労者の就労希望

働いていない母親の就労希望は、68.8% (6.7 p 増) となっている。「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」は 34.1% (5.9 p 増) となっており、緊急性の高い就労ニーズが高くなっている。

⑤地域の子育て支援事業の利用状況について

(問 15・16) 児童館・児童交流館の利用状況・利用希望

児童館・児童交流館の利用状況は、「利用している」が 16.4% (5.2 p 増) となっている。また新規の利用希望率は 19.6% (2.9 p 増) となっており、利用率及び新規利用希望率ともに増加している。

(問 17) 各事業の認知度

知っている子育て支援事業は、「①家庭教育学級（幼保園・認定こども園・幼稚園）」が 82.3% (7.4 p 増)、「②家庭児童相談室（市役所）」が 44.1% (12.8 p 減)、「③掛川市教育センター（大東支所内）」が 22.4% (5.0 p 減) となっている。

⑥放課後の過ごし方について

(問 18・19・20) 希望する放課後の過ごし方(放課後児童クラブに着目)

希望する放課後の過ごし方のうち、「放課後児童クラブ(学童保育)」については、低学年(1～3年)での希望(現実)が32.5%(9.6p増)、高学年(4～6年)での希望が17.9%(4.3p増)となっている。高学年までの利用希望者で、6年生までの利用が37.4%(7.0p減)している。

(問 21・22) 平日以外の放課後児童クラブの利用希望

平日の放課後児童クラブ利用希望者のうち、土曜日の利用希望は16.8%(2.6p減)、日曜・祝日の利用希望は9.5%(4.6p減)、長期休暇時の利用希望は95.0%(0.1p減)で、長期休暇時の利用希望が高くなっている。

⑦育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

(問 23) 母親の育児休業の取得状況

母親の育児休業の取得状況は、「取得した」が34.8%(10.2p増)、「取得していない」が12.7%(3.4p減)となっている。なお、「働いていなかった」が52.1%(5.6p減)となっている。

(問 23) 母親が育児休業を取得しなかった理由

母親が育児休業を取得しなかった理由は、「子育てや家事に専念するため退職した」が40.9%(3.9p減)、「職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)」20.1%(1.3p増)、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」12.1%(1.6p増)などとなっている。

(問 23) 父親の育児休業の取得状況

父親の育児休業の取得状況は、「取得した」が1.0%(0.4p増)でほぼ横ばいとなっている。

⑧子育てに関する意識などについて

(問 24) 悩んでいることや不安に思っていること

母親が悩んでいることや不安に思っていることは、「子どもの教育に関すること」が最も多く38.9%(2.3p減)、次いで「友達付き合い(いじめなど)に関すること」が32.6%(1.8p減)、「子どもとの時間を十分にとれないこと」が32.3%(1.7p増)となっている。その他、前回調査と大きな変化はなかった。

父親が悩んでいることや不安に思っていることは、「子どもとの時間を十分にとれないこと」が最も多く 31.1% (0.4 p 増)、次いで「特になし」が 19.7% (1.8 p 増)、「子どもの教育に関すること」が 19.5% (0.6 p 減) となっている。その他、前回調査と大きな変化はなかった。

(問 26) 掛川市における子育て環境や支援の満足度

掛川市における子育て環境や支援の満足度は、「やや満足度が低い」が 21.7%、「満足度が低い」が 20.5%で、“不満足派”は 42.1% (3.4 p 増) となっている。「やや満足度が高い」が 15.3%、「満足度が高い」が 1.6%で、“満足派”は 16.9% (9.8 p 増) となっている。